

2024年度後援会 第2回幹事会開催報告

10月26日(土)、2024年度第2回幹事会がオンライン形式にて開催されました。

開催に先立ち、田中会長(兼4年幹事長)よりご挨拶をいただき、引き続き、経営学部学生指導主任の中島教授、ならびに情報マネジメント学部学生指導主任の中川教授より、各キャンパスにおける学生生活や課外活動等の様子についてご報告をいたしました。ご出席いただいた各学年の幹事の皆様には、学生の取り組みと後援会からの支援活動について、ご理解をいただくことができました。

続いて、後援会事務局より、更に具体的に学生の活動や後援会が支援している活動および9月までの予算実績状況等について説明が行われました。幹事のみなさまには、特に学園祭などの大学行事や課外活動が昨年以上に活発化しており、後援会からのご支援を有効に活用させていただいていることを報告いたしました。

最後に、学位授与式において後援会より卒業生に贈呈する卒業記念品について、事務局側より各学年の幹事の皆様に提案を行い、ご承諾をいただきました。

幹事会は終始穏やかな雰囲気の中で進められ、次回3月の開催日時を確認のうえ、無事に終了いたしました。

《議事および報告、他》

1. 両学部 学生指導主任による「学生生活」について
2. 学生活動および後援会支援活動報告(4～9月)
3. 2024年度予算実績状況(9月末現在)
4. 2024年度の広報活動について
5. 事務局からの報告事項および今後の予定について



学生新聞の制作と発行(自由が丘・湘南)

一昨年、昨年に引き続き、保護者の皆さまから好評を得ている学生新聞が自由が丘・湘南の両キャンパスで制作されました。

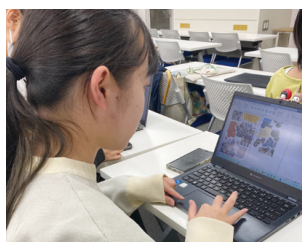
自由が丘キャンパス(経営学部)では、授業科目「エディター養成プログラム」の履修生など、印刷物のデザインや編集に興味のある学生が集まる同好会「広告研究会」の2年生4名、1年生3名の有志が制作を担当し、昨年制作に携わった3年生の会長がアドバイザーとなり、同好会顧問の加藤教授の監修のもと作成しました。「産能生のリアル」をテーマに、バッグの中身や休み時間、放課後の過ごし方など学生目線での情報が詰まっています。

湘南キャンパス(情報マネジメント学部)では創刊当初より、学生団体である学生会執行部の学生が制作メンバーを構成し、取材から発行までを担っています。前学期から記事テーマや誌面構成、取材、調整、校正まで授業と課外活動を両立しながら隙間を縫って進めてきました。「産能大生の今」を保護者の方々に伝えたいというメンバーの想いが反映された誌面では、特徴ある本学の授業やゼミ活動、また課外活動での学生の活躍にフォーカスしています。

作成したそれぞれの学生新聞は、本誌と共に同封のうえ、保護者の皆様にお届けいたします。学生視点で編集された各キャンパスの新聞を是非ご覧ください。



自由が丘学生新聞制作の様子



自由が丘学生新聞制作の様子



湘南学生新聞制作の様子



湘南学生新聞制作メンバー